




| | | | | | |
|----------------------|---|------------|-------|------------|----------------|
| 令和4年度 基本評価調書① | | 所管部局 | 総合政策部 | 所管課 | 科学技術振興課 |
| 施策名 | 本道活性化のための科学技術の振興 | | | 施策コード | 0204 |
| 政策体系(中項目) | 新たな成長産業への挑戦や研究開発の推進 | | | 政策体系コード | 2(4)A 2(4)C |
| 関連重点戦略計画等 | 知事公約、創生総合戦略、強靱化計画、Society5.0推進計画 | | | | 事務事業数 |
| SDGs |    | 総合判定 | | 順調 | |
| 予算額(千円) | R 4 | 13,826,110 | R 3 | 14,792,038 | R 2 |
| | | | | | 14,683,007 |

| | | | | | |
|-----------|--|------|--|----------|--|
| 施策目標 | 本道の特性を活かした研究開発や研究成果の移転促進等のため、産学官金等の協働や、研究開発拠点の形成などを推進するほか、科学技術に親しむ機会の提供、科学技術・産業の発展などを担う人材の育成・確保、新事業、新産業の創出に結び付く知的財産の戦略的な創造・保護・活用を推進。 | | | | |
| 現状と課題 | 道では、国の大型プロジェクトを活用した研究開発拠点の形成や研究開発機能の充実など、科学技術の振興に取り組んでおり、産業の振興を一層図るため、産学官金等が連携しつつ、大学を核とした研究開発拠点の形成などを進める必要がある。 | | | | |
| 前年度二次評価意見 | | 対応状況 | | (R4.3時点) | |

| | 今年度の取組 | 実績と成果 |
|------|--|--|
| 主な取組 | <ul style="list-style-type: none"> 北海道科学技術振興条例及び北海道科学技術振興計画に基づく各種取組 地方独立行政法人北海道立総合研究機構(道総研)の中期計画及び年度計画の進捗状況の管理 道総研の業務運営の財源に充てるために必要な運営費交付金等の交付 先端技術の活用や本道の強みを活かした産学官連携の推進 大学等と連携してプロジェクトの獲得に向けた取組の推進 本道における知的財産の創造、保護及び活用の促進 | <ul style="list-style-type: none"> 北海道科学技術振興条例及び北海道科学技術振興計画に基づき、計画の推進状況について北海道科学技術審議会により調査、審議するとともに、科学技術の振興に関して優れた取組をした者に対し、北海道科学技術賞等により表彰を行った。(R4.2) 道総研に対し、R3は運営費交付金等として、14,995百万円を交付するとともに、R3.8月に評価委員会を開催し、中期計画及び年度計画の進捗状況の管理を実施した。 産学官が連携して行う基礎的研究・応用研究・実用化研究を支援し、共同研究件数が増加した。(R1 1,551件→R3 1,667件) R3年度は(公財)北海道科学技術総合振興センター(以下ノーステック財団)を通じて、「スタートアップ研究補助金」により産学官の基礎的・先導的研究等を13件支援するとともに、「発展・橋渡し研究補助金」により新技術の創出や地域産業の振興につながる研究等5件を支援した。 R3年度は、北海道大学と連携して申請した「共創の場形成支援プログラム」(国研)科学技術振興機構が公募する産学官共創拠点の形成を目指す産学連携プログラム)に2件採択された。 道及び北海道経済産業局が事務局を務める北海道知的財産戦略本部において、今後の本道における知的財産施策の方向性を定めた「北海道知的財産戦略推進計画」を策定した。(R4.3月) |

| | |
|--------|---|
| 連携状況 | <ul style="list-style-type: none"> 北大R&BP構想推進協議会に参画し、北海道大学や北海道経済連合会、ノーステック財団等とともに、北海道が独自性・優位性を有する分野や成長分野における産学官連携による研究開発や事業化についての支援を行っている。 道内の大学や研究機関、経済団体など58機関で構成する全道産学官ネットワーク推進協議会を運営し、産学官の連携強化に向けて取り組んでいる。 北大・ノーステック財団と連携して37の構成機関とともに、農林水産業のスマート化などを通じて、北海道ブランドの確立を目指す取組(北海道プライムバイオコミュニティ)が、内閣府の「地域バイオコミュニティの形成」事業に認定された。(R3.6) 道総研が行う研究費等の財源を措置し、道内における産学官による共同研究や事業化を支援している。 |
| 緊急性優先性 | <ul style="list-style-type: none"> 北海道科学技術審議会をはじめ、地域の有識者から意見を聴取する地域懇談会の開催を通じ、ニーズを把握した上で、産学官の協働等の取組を推進している。審議会における人材の育成に関する意見を踏まえ、道民が科学技術に触れることができるイベント「サイエンスパーク」において、「北海道society5.0」が描く未来社会についても理解を深めることができるゾーンを設けた。 民間の有識者からなる北海道地方独立行政法人評価委員会の評価意見を聴取したうえで評価を実施し、道総研が作成した中期計画及び年度計画の進捗状況の管理を行っている。評価委員会における安全確保・リスク管理に関する意見を踏まえ、道総研における安全性の向上に向けた取組のため、適切な助言を行うなど、道総研とより一層の連携を図っている。 |

| | | | | |
|----------------------|------------|------------------|--------------|------|
| 令和4年度 基本評価調書② | 施策名 | 本道活性化のための科学技術の振興 | 施策コード | 0204 |
|----------------------|------------|------------------|--------------|------|

〈成果指標の達成状況〉 ⇒ 3つ以外の指標は、補助指標調書に記載

| 指標名① | 増加 | 件 | R1年度 | R2年度 | R3年度 | 最終目標(R7) | 達成率 | 指標判定 |
|-------------|----|-----|-------|-------|-------|----------|--------|------|
| 産学官の共同研究の件数 | | 目標値 | 1,374 | 1,576 | 1,601 | 1,700 | 104.1% | A |
| | | 実績値 | 1,551 | 1,508 | 1,667 | — | | |

設定理由 総合計画における政策の方向性「本道の活性化に役立つ科学技術の振興」中の産学官の協働状況を測る指標として設定。

分析（主な取組と成果）

道総研に対し運営費交付金を措置し、産学官が連携して行う基礎的研究・応用研究・実用化研究を支援するとともに、産学官連携による道内での事業化に向けた先導的な技術シーズ創出を目指す研究や、産学の共同研究成果等を活用して道内での事業化を目指す研究を支援することにより、協働に向けた機運醸成が図られてきており、目標値を達成。本道の活性化につながる科学技術の振興をさらに推進するため、引き続き産学官金等の関係機関の連携強化と協働を支援していくことが重要である。

| 指標名② | 増加 | 人 | R1年度 | R2年度 | R3年度 | 最終目標(R4) | 達成率 | 指標判定 |
|----------------|----|-----|-------|--------|--------|----------|--------|------|
| 「サイエンスパーク」参加者数 | | 目標値 | 1,400 | 10,000 | 20,000 | 30,000 | 115.0% | A |
| | | 実績値 | 1,500 | 11,000 | 23,000 | — | | |

設定理由 北海道科学技術振興計画において、科学技術に対する理解と信頼を得るために実施することとしている事業であることから、その実施成果を測るため、会場とオンラインを合算した参加者数を指標として設定。（R2及びR3は会場実施していないため、オンラインのみで算定。）

分析（主な取組と成果）

体験イベントは感染症拡大に伴い中止となったものの、積極的なPRや関係機関との連携により、オンラインによるイベントの充実を図った結果、目標値を達成。道民が科学技術に触れ合う機会の確保は、科学技術振興への理解促進にあたり重要であると考えます。

| 指標名③ | 増加 | 件 | H30年度 | R元年度 | R2年度 | 最終目標(R3) | 達成率 | 指標判定 |
|--------------------|----|-----|-------|-------|-------|----------|--------|------|
| 道内大学等における特許等の実施許諾数 | | 目標値 | 880 | 880 | 880 | 880 | 172.8% | A |
| | | 実績値 | 945 | 1,273 | 1,521 | — | | |

設定理由 北海道科学技術振興計画において、道内高等教育機関等における知的財産の創造、保護及び活用に関する推進状況を測るための数値目標として設定。

分析（主な取組と成果）

北海道知的所有権センターにおいて特許流津を促進してきたほか、北海道知的財産戦略本部の構成機関と連携し、知的財産の意識啓発を進めた結果、目標値を達成。大学等の保有する知的財産の積極的な活用を通じ、本道経済の活性化を目指すことは重要であると考えます。

【総合判定】

| | | | | | | | |
|------|---|------------|---|------|---|------|----|
| 連携状況 | ○ | 緊急性 優先性 | ○ | 指標判定 | A | 総合判定 | 順調 |
|------|---|------------|---|------|---|------|----|

| 翌年度に向けた 対応方針 | 対応方針番号 | 内容 |
|-----------------|--------|--|
| | ① | 新型コロナウイルス感染拡大に伴う社会経済活動の停滞に伴い特許流通サポーターの相談件数が目標に達しない状況となっているが、今後の経済活動の復興のほか、産学官金などの関係機関と連携し、ニーズの掘り起こしに努める。 |
| | ② | |
| | ③ | |

| | | | | |
|---------------|-----|------------------|-------|------|
| 令和4年度 基本評価調書③ | 施策名 | 本道活性化のための科学技術の振興 | 施策コード | 0204 |
|---------------|-----|------------------|-------|------|

<二次政策評価>

| | |
|--------------------|--|
| R4年度 二次政策 評価 | |
|--------------------|--|

| | | | |
|--------------------|--------|--|---------------------|
| 二次政策 評価への 対応 | | | |
| R5 施策の 方向性 | 対応方針番号 | 方向性 | 関連する事務事業 (新規・拡充) |
| | ① | 研究・教育機関と産業・経済界や自治体との連携を一層密にし、道総研をはじめとした道内の研究活動に対する各種支援や国の大型プロジェクトの獲得と推進等に取り組む。 | |
| | ② | | |
| | ③ | | |
| R5新規事業数 | | | |

| | | | | |
|---------------|-----|------------------|-------|------|
| 令和4年度 補助指標調書① | 施策名 | 本道活性化のための科学技術の振興 | 施策コード | 0204 |
|---------------|-----|------------------|-------|------|

【成果指標の達成状況】

| 補助指標名① | 件 | R1年度 | R2年度 | R3年度 | 最終目標(R4) | 達成率 | 指標判定 |
|----------------------|-----|------|------|------|----------|-------|------|
| 特許流通サポーターによる特許流通相談件数 | 目標値 | 740 | 745 | 750 | 755 | 83.6% | C |
| | 実績値 | 785 | 573 | 627 | — | | |

設定理由 北海道科学技術振興計画において、知的財産の創造、保護及び活用に関する推進状況を測るための数値目標として設定。

分析（主な取組と成果）

北海道知的所有権センターにおいて特許流通を促進してきたほか、北海道知的財産戦略本部の構成団体と連携し、知的財産の普及啓発を図ってきたところ。令和3年度は前年度に比して増加したものの、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い相談件数が目標値に達しなかったが、ポストコロナにおける本道経済の活性化に向け同センターが特許流通の促進において果たす役割は大きいことから、引き続き適切な運営に努めていく。

| 補助指標名② | | R2年度 | R3年度 | R4年度 | 最終目標() | 達成率 | 指標判定 |
|--------|-----|------|------|------|--------|-----|------|
| | 目標値 | | | | | - | - |
| | 実績値 | | | | | | |

設定理由

分析（主な取組と成果）

| 補助指標名③ | | R2年度 | R3年度 | R4年度 | 最終目標() | 達成率 | 指標判定 |
|--------|-----|------|------|------|--------|-----|------|
| | 目標値 | | | | | - | - |
| | 実績値 | | | | | | |

設定理由

分析（主な取組と成果）

| 補助指標名④ | | R2年度 | R3年度 | R4年度 | 最終目標() | 達成率 | 指標判定 |
|--------|-----|------|------|------|--------|-----|------|
| | 目標値 | | | | | - | - |
| | 実績値 | | | | | | |

設定理由

分析（主な取組と成果）

令和4年度 事務事業評価調書

施策名

本道活性化のための科学技術の振興

施策コード

0204

| 整理番号 | 重複施策 | 経費区分 | 事務事業名 | 事務事業概要 | 課・局 室名 | 令和4年度 | | | | | | 令和4年度 | | ACTION 結果への対応(令和5年度) | | | |
|------|------|--------|---|--|-----------|-----------------|------------|------------|------------|------|-----|------------|--------|----------------------|----------|--------|--------------|
| | | | | | | 前年度からの繰越事業費(千円) | 事業費(千円) | うち一般財源 | 執行体制 | | | フルコスト(千円) | 一次政策評価 | | 二次政策評価意見 | 次年度方向性 | 二次評価意見への対応状況 |
| | | | | | | | | | 本庁 | 出先機関 | 人工計 | | 対応方針番号 | 方向性 | | | |
| 1201 | | 一般 | 総合研究機構運営支援費(運営費交付金) | 地方独立行政法人北海道立総合研究機構の業務運営に必要な財源を措置 | 科学技術振興課 | | 13,247,000 | 13,247,000 | 0.8 | | 0.8 | 13,253,227 | | | | | |
| 1202 | | 一般 | 総合研究機構運営支援費(施設整備等補助金(計画分)) | 地方独立行政法人北海道立総合研究機構の試験場施設等の改築などに対する助成 | 科学技術振興課 | | 304,033 | 186,033 | 0.4 | | 0.4 | 307,147 | | | | | |
| 1204 | | 投資的経費B | 総合研究機構運営支援費(施設整備等補助金(中央農業試験場岩見沢試験地庁舎改修(集約化))) | 地方独立行政法人北海道立総合研究機構の試験場施設等の改築などに対する助成 | 科学技術振興課 | | 175,336 | 18,336 | 0.2 | | 0.2 | 176,893 | | | | | |
| 1217 | | 投資的経費B | 総合研究機構運営支援費(施設整備等補助金(北見農業試験場庁舎改築費)) | 地方独立行政法人北海道立総合研究機構の試験場施設等の改築などに対する助成 | 科学技術振興課 | | 44,088 | 44,088 | 0.2 | | 0.2 | 45,645 | | | | | |
| 1206 | | 事務 | 科学技術振興課総合調整等業務(道総研関係分) | 道議会関係事務、予算・決算等の管理に関する事務全般、道総研や各部との調整事務地方独立行政法人北海道立総合研究機構に対する施設整備等補助金に係る工事完成検査 | 科学技術振興課 | | | | 1.6 | | 1.6 | 12,454 | | | | | |
| 1207 | | 事務 | 各種審議会経費(地方独立行政法人評価委員会(道総研)) | 北海道地方独立行政法人評価委員会試験研究部会の開催 | 科学技術振興課 | | | | 0.8 | | 0.8 | 6,227 | | | | | |
| 1208 | | 一般 | 科学技術振興推進事業費補助金(研究開発事業費補助金) | 産学官が連携して行う基礎的研究・応用研究・実用化研究に対する支援 | 科学技術振興課 | | 27,955 | 27,955 | 0.2 | | 0.2 | 29,512 | | | | | |
| 1209 | | 一般 | 研究開発推進事業費(科学技術振興計画推進費) | 「北海道科学技術振興条例」の基本計画となる「北海道科学技術振興計画」に基づく科学技術の振興に関する施策の推進等 | 科学技術振興課 | | 3,180 | 3,180 | 5.0 | | 5.0 | 42,100 | | | | | |
| 1218 | | 一般 | 研究開発推進事業費(科学技術ふれあい推進費) | 体験型科学技術イベント「サイエンスパーク」を開催し、Society5.0やゼロカーボンといった未来技術の意識醸成を図る。 | 科学技術振興課 | | 4,049 | 4,049 | 2.6 | | 2.6 | 24,287 | | | | | |
| 1210 | | 事務 | 科学技術振興課総合調整等業務 | 課職員の管理・監督、議世事務、対外調整及び企画に関する事務、科学技術審議会に関する事務、各種表彰事務、その他課の庶務に関する事務等 | 科学技術振興課 | | | | 3.0 | | 3.0 | 23,352 | | | | | |
| 1211 | | 一般 | 研究開発推進事業費(R&BP整備推進事業費) | 産学官連携による研究開発から事業化までの一貫したシステムの構築等を、北大をはじめ全道の主要地域で推進。(独)中小機構が北大キャンパス内に設置したインキュベーション施設を活用し、大学発ベンチャー企業等の創業や育成を支援 | 科学技術振興課 | | 12,969 | 12,969 | 3.0 | | 3.0 | 36,321 | | | | | |
| 1212 | | 一般 | 研究開発推進事業費(知的所有権センター事業費) | 道内中小企業等に対し、開放特許等の流通や特許情報の活用を支援することにより、新事業、新産業の創出を図るため、北海道知的所有権センターを運営 | 科学技術振興課 | | 7,500 | 7,500 | 0.1 | | 0.1 | 8,278 | ① | 改善(指標分析) | 改善 | | |
| 1213 | | 事務 | 北海道産学官共同研究拠点に関する事務 | 産学官試作・実証研究センターの円滑な事業運営に関する関係団体との調整 | 科学技術振興課 | | | | 0.1 | | 0.1 | 778 | | | | | |
| 計 | | | | | | | 0 | 13,826,110 | 13,551,110 | 18.0 | 0.0 | 18.0 | | | | | |

